

2017ちばフォーラム

福祉で

大冒険

総房

大暴走

2017
10/14^土



大会日時 平成29年10月14日(土) 9:45~

会場 八千代市民会館 大ホール
第二部会場は第三会議室

千葉県八千代市萱田町728

主催 一般社団法人 スタジオフクシ

参加費

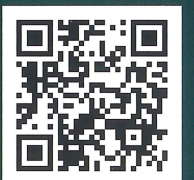
第一部 5000円 学生無料

第二部 4000円 (シンポジウム・懇親会) 先着60名

申し込み方法 下記webの参加申込フォーム (QRコードからもアクセスできます)

<https://goo.gl/forms/GVIZQmrOiWQwTHJl3>

申し込み期日：当日飛び込み参加大歓迎 お支払い方法：当日会場で現金支払い
お問合せ：申込フォームの「その他お問合せ」よりお問合せください。



2017ちばフォーラム「福祉で大冒険・大房総」

9:10	受付	14:20	「これからのJAPAN介護～カッコよさってなんだ?～」 社会福祉法人愛川舜寿会 常務理事 馬場拓也 氏 社会福祉法人ウエルガーデン 法人本部採用企画室長 杉本浩司 氏
9:40	開会	15:35	休憩
9:45	基調講演 「これからの日本・これからの福祉」 毎日新聞論説委員 野澤和弘氏	15:45	「クリエイティブな障害者就労の実践」恋する豚研究所から 講師:社会福祉法人福祉楽団 理事長 飯田大輔氏
11:00	休憩	16:50	閉会 第二部(会場 第3会議室)
11:10	「見えない貧困と子ども食堂の意義」 中核地域生活支援センターがじゅまる 所長 朝比奈ミカ氏	18:00	懇親会×シンポジウム(障害者のリアル×東大生のリアル) 毎日新聞論説委員 野澤和弘氏 × 東大生
12:10	昼休憩	20:00	終了
13:10	「これからの人材確保と人材育成」 一般社団法人Face to Fukushi 事務局長 岩本恭典氏 株式会社Join for Kaigo 代表取締役 秋本可愛氏		
14:10	休憩		

東京大学学生ゼミ「障害者のリアルに迫る」とは？

私共は毎学期に「障害者のリアルに迫る」と題した全13回の授業を東京大学1・2年生向けに開講している東京大学の学生数名で構成される団体です。本授業では障害当事者を中心に、様々なジャンルの講師にお話しを聞きながら、障害者やその周りの方々の「ありのまま」を見つめ直し、彼らの抱える悩みや問題について自らの頭で落ち着いて考え、悩んでもらうことを目指しています。

身体障害や知的障害といった一般的な「障害」だけでなく、LGBTやハンセン病など、広い意味での生きづらさを抱える人々に目を向けながら、受講生に一方的に知識を教えるのではなく、障害者が抱える問題に触れる中で生まれる様々な疑問や悩みについて、一人一人が自由に考えることのできる場所を目指します。

著書に「障害者のリアル×東大生のリアル」



プロフィール



のざわ かずひろ
野澤 和弘

毎日新聞論説委員
1959年静岡県出身。早稲田大学法学部卒業。毎日新聞入社。津支局、中部報道部、東京社会部。薬害エイズ取材班、児童虐待取材班などを担当。科学環境部副部長、社会部副部長を経て、2007年5月から夕刊編集部長を経て、2009年4月から現職。社会保障審議会障害者部会委員、内閣府障害者政策委員会委員、植草学園大学客員教授、東京大学非常勤講師、上智大学非常勤講師など。主な著書に「障害者のリアル×東大生のリアル」(ぶどう社)「あの夜、君が泣いたわけ」(中央法規)、「条例のある街」(ぶどう社)など。



あさひな みか
朝比奈 ミカ

1988年より東京都社会福祉協議会。2004年社会福祉法人一路会にてがじゅまるの創設にかかわる。現在、中核地域生活支援センターがじゅまる所長、社会保障審議会生活困窮者自立支援及び生活保護部会委員



いわた きょうすけ
岩本 恭典

一般社団法人FACE to FUKUSHI 事務局長
1986年静岡県生まれ。
福祉人材確保を行う一般社団法人FACE to FUKUSHIの立ち上げに携わり、全国10か所以上で福祉従事者フォーラム実施する。2014年から、同事務局長に就任。
現在は、福祉就職フェア、若手福祉人材向けの研修の企画、福祉事業所の人材コンサルティングを行い、福祉人材確保に取り組んでいる。



あきもと かあい
秋本 可愛

平成2年生まれ。2013年専修大学商学部卒業。同年、株式会社Join for Kaigo設立。若者が介護に関心を持つきっかけや、若者が活躍できる環境づくりに注力。都内を中心に介護に志を持つ若者のコミュニティ「HEISEI KAIGO LEADERS」を運営。その取り組みが注目され、厚生労働省の介護人材確保地域戦略会議に有識者として参加。第11回ハスデザイン大賞2016ヒト部門準大賞受賞。2017年より東京都福祉人材対策推進機構の専門部会委員に就任。全国で権利擁護等の講演を多数行なう。



ばば たくや
馬場 拓也

社会福祉法人愛川舜寿会 常務理事 1976年 神奈川県生まれ イタリアのファッションブランド「ジョルジオ アルマーニ ジャパン株式会社」入社。トップセールスマンとして活躍した後、2010年に現在の法人に2代目経営者として参画。2014年 全国20の社会福祉法人共同プロジェクトを立ち上げ、介護を多角的に捉えた写真×論考の書籍「介護男子スタディーズ」を出版。2016年には地域との隔りであることを特徴を囲う壁を取り払い、空間デザインから地域との「距離」をリデザインするプロジェクト「Re:Design Project」を女性建築家・造園家・大学生らと共に企画。地域の人誰もがアクセス可能で「座れる」庭「Minowa・座・Garden」を完成させる。



よしだ こうじ
杉本 浩司

1977年千葉県生まれ 介護福祉士
全国で自立支援、人材育成、経営管理等の講演を 年間50回、今までに約500回の講演を行なっているほか、施設アドバイザー等としても活躍学生からベテラン介護職まで、さまざまな層に介護の面白さを伝える
*BS-TBS特番「LIVING SHIFT-これが私の生きる道-」(2015年3月21日放送)では、「介護業界の異端児」として紹介される
*テレビ東京「東京ガールズ」(2015年7月6日放送)でも「介護業界に必要な人物」として紹介される



いっただいすけ
飯田 大輔

1978年千葉県生まれ。東京農業大学農学部卒業。日本社会事業学校研究科修了。千葉大学看護学部中途退学。千葉大学大学院人文社会科学研究科博士前期課程修了(学術)。2001年、社会福祉法人福祉楽団を設立。特別養護老人ホーム等の相談員や施設長などを経て、現在、理事長。2012年、障害のある人にきちんとした仕事をつくるため株式会社恋する豚研究所設立、現在、代表取締役。京都大学こころの未来研究センター連携研究員、東京藝術大学非常勤講師。主な論文に「クリエイティブなケア実践の時代へ『ケアの六次産業化』という視点」(週刊社会保障第2782号)。介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士。